



北齋と感情

Hokusai and Emotion

2024年4月6日（土） - 2024年6月9日（日）

それが悲劇であれ喜劇であれ、登場人物の感情の起伏は物語の大切な魅力の一つでしょう。江戸の人々が楽しんだ物語も例外ではなく、北齋が手掛けた版本の挿絵には、様々な感情を見つけることができます。

北齋は、40代半ば頃から読本挿絵の分野で活躍します。曲亭馬琴や柳亭種彦といった戯作者とタッグを組んで世に送り出した読本作品は、江戸の人々の心をつかみ人気を得ました。

北齋の挿絵が人々を引きつけたわけは、緻密な描写や、大胆な構図などいくつかの理由が考えられますが、そのうちのひとつに感情表現の面白さがあるのではないのでしょうか。ある物語の登場人物は悲しみに暮れて涙を流し、また別の物語では、大金を前に大喜びする人物も。こうした豊かな感情表現は、読者を物語の世界へ引き込み大いに魅了したことでしょう。

本展覧会では、北齋の版本挿絵を中心に登場人物の感情表現に焦点を当てます。泣いたり驚いたり喜んだり、登場人物の様々な感情の表現をお楽しみください。

お問い合わせ先

一般財団法人 北齋館（担当学芸員：櫻井）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: info@hokusai-kan.com



hokusai-kan.com

みどころ

1. 登場人物の表情や仕草

ときにシリアスに、ときに滑稽に、北斎が描く人物はさまざまな感情を、表情や仕草で伝えてくれます。全体の構図や背景の表現も魅力的な読本挿絵の世界ですが、本展では、少し画面に寄って細かい人物の表現にもご注目ください。



『唐詩選画本』



『潮来絶句集』



『富嶽百景』より「サイ穴の不二」



『絵本浄瑠璃絶句』より「傾城阿波の鳴門 門順礼の段」

2. 物語と楽しむ

絵を見るだけでも楽しめる版本挿絵ではありますが、泣いたり笑ったりする人物を見ていると「一体何があったのか」と知りたくなるかもしれません。本展では、いくつかの物語の一節もご紹介します。ぜひ、物語と一緒に挿絵の世界をお楽しみください。



『皿血郷談』



『北越奇談』より「仁助大蜂の夢を買て樹根に金を得る」

イベント

学芸員によるギャラリートーク

開催日：4月20日（土）、5月4日（土）、6月1日（土）

時間：14時～

参加料：無料（要入館券）

開催概要

会議：2024年4月6日(土)～6月9日(日)

会場：北斎館（長野県上高井郡小布施町小布施485）

開館時間：午前9時～午後5時 ※ご入館受付は閉館30分前まで

休館日：会期中無休

入館料：大人1,000円、高校生500円、小中学生300円、小学生未満 無料

信州小布施「北斎館」について

葛飾北斎が描いた肉筆画60余点を収蔵、季節ごとの企画展で展示し、80歳を超えた晩年に信州小布施で描いた東町・上町の祭屋台天井絵「龍」「鳳凰」、「男浪」「女浪」は、常設展示されています。ご来館の皆様には、ワンフロアで映像ホール、第一・二展示室（企画展示室）、第三展示室（肉筆展示室）、第四展示室（祭屋台展示室）をご観覧いただくことができます。ぜひこの機会にご来館ください。



北斎館外観



祭屋台展示室

お問い合わせ先

一般財団法人 北斎館（担当学芸員：櫻井）

〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485

Tel: 026-247-5206 Fax: 026-247-6188 Mail: info@hokusai-kan.com

